

---

# 精霊の守りし星

阿修羅。

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

精霊の守りし星

### 【コード】

N2085C

### 【作者名】

阿修羅。

### 【あらすじ】

フローラ太陽系の星を守る精霊たちの物語。

## プロローグ

私はリイヤ。

今、私の星「earth」（アース）で何かすごいことが起こってる。

それが何かは、まだ誰も分からないだろう。

「earth」ができたのは、

53万年前のことだった。

それから今まで、多くの精霊の手により、この星を守ってきた。だいたい、守りの精霊に、予知できないことはなかったという。

そのころ、フローラ太陽系のある惑星で祝杯があげられていた。

水の星『シグナラ』で、新たな守りの精霊が誕生したのだ。

この精霊は、“ルリーラ”と名づけられた。

ルリーラは、888代目だった。

この代の精霊は、すごく強力な魔力を持つといわれている。

そのため、彼女は期待の星、といったところだった。

リイヤも祝杯パーティーに参加するため、水の星に向かった。

心配な気持ちからもすぐに開放され、パーティーを楽しむことが出来た。

ザッパアアア……

「？水の音。。。」

ルリーラが病に侵された。

無意識に膨大な魔力を使ってしまう、生まれたての精霊によくある病気。

10秒後には会場は水に侵食され尽くし、人は一人も居なかった。

みんなワープか、高度な技術で作り上げられた移動装置を使い、助かった。

しかし、こんなウイルス、誰が持ち込んだのか。。。会場入園時にしっかりとした検査がなされるのに。

水の星は破滅へと向かう。。。。

黒幕がいるはずだ。。。。

あれから230年。

一時は水の星はもうだめかと思われた。

でも今はルリーラも回復して、幸せな日々が訪れた。

黒幕は見つかっていない。。。。

この200年間に起きたことは、

この広いフローラ太陽系の誰もが見忘れることはないだろう。

200年間の間に何が起こったか???

この200年間に起きたことは、これからはじまる物語。

宇宙にとって200年は何千万分の一秒でしかない。

でもその何千万分の一秒が積み重なって

「現在」というものがあるのである。

## 第一話 落ちたところは夕焼けの星

「ここはどこ？」

水の星のパーティー会場をワープで抜け出したリイヤ。

その途中で、知らない星の引力に引き寄せられて、こんなところに来てしまった。

「誰か・・・居ますかあゝ！」

・・・

「居ないかなあ・・・。」

その時、少し先に人影が。

「すみませ〜ん!!！」

「？」

こつちに歩いてきてくれる。

(親切な人でよかったあ。)

「誰？」

ぶつきらぼつな返事。

「えつとあ、水の星からワープしたときに、ここの引力に引き寄せられて、こんなところに来ちゃった訳で・・・。リイヤって言います！」

「・・・。こんなことはなんだよ。ここは『夕焼けの星』。水の星??すると、おまえは精霊？」

「当たり前。でも出身はアースだよ。てか、『夕焼けの星』って星の名前なの？」

「『夕焼けの星』は通称だよ、通称。大体おまえの出身星なんて聞いてないっつーの。」

(ひつどい男!?)

「すみませんでした〜!!！」

「・・・。こんなちっぽけな星の名前、誰も覚えてないから。」

「……………」

（この人なりに大変なんだ。。。）

「ま、いいや。おまえ帰れるのか？この引力は結構強いから……」

。

「無理。帰れない。」

「……しょうがない。うち来な。」

「え！？」

「ホテルだから。」

「え！？ありがとオ！！！」

「宿泊料は払ってもらいます。商売だから。」

「ほんと無理っ。。。」

「冗談。」

「真顔で言うなッ」

こうして笑いながら少しだけ話した。

ぶっきらぼうな奴だけど、楽しかったかも。。。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2085c/>

---

精霊の守りし星

2011年1月5日02時34分発行